

つれづれ日記 (*≧ω≦)

【インターハイ対戦成績】第11組D

予選対 北陸(福井)に 19、17で惜敗
敗者復活対 由利(秋田)に 22、14で惜敗

全国大会での勝利はやはり難しいですネ (μ_μ*)

【県大会結果】

春季総合体育大会 女子決勝

		20	—	25	
水口東	2	32	—	30	1 近江
		25	—	23	

女子決勝 近江高校 対 水口東高校



春高予選と同じカードとなった近江高校対水口東高校。序盤是水口東の巽、松田の両レフトがスパイクを決め、12-10とリードする。対する近江はキャプテン吉岡のセンター攻撃などで15-15と追いつき、宮崎の活躍で20-17とリードすると水口東のスパイクを拾い始めた近江は日下部の平行攻撃などでこのセットを25-20で取った。

あとの無くなった水口東は中川のサーブと巽のスパイクなどで10-3とリードするが、近江はタイムアウトで流れを変え、12-12と追いつく。両チームは中盤一進一退の攻防を繰り広げ、お互い譲らず終盤までもつれ込みデュースとなる。最後是水口東巽のスパイクが決まり32-30でセットカウント1対1の振り出しに戻した。このセットを取った方が沖縄行きの切符を手にする第3セット。試合巧者の近江が9-5とリードするが、水口東キャプテン坂本のサーブポイント、巽、松田のスパイクなどで16-16と追いつく。お互いのチームの良さを出しあったこのセット、最後是水口東の巽のスパイクが決まり初優勝を飾った。

専門副委員長 殿城 毅 <県バレーHPから引用しました>
(参考：殿城さんも水口東高校のバレー部OBでしたネ！！)

《甲賀市(郡)における《バレーボール全国大会の歩み》》

昭和42年(1967年)長野市と昭和43年(1968年)広島市と2年連続して、甲賀高校(現水口高校)時代、元顧問大橋紀孝先生指導の下で男子バレー部がインターハイに出場しています。

<水口高校80周年記念誌のバレーボールの歴史>の記事によると

昭和42年は予選リーグで沖縄の小禄高校と岐阜の岐南工業に敗退。初出場で力を発揮できずとありました。

翌年、昭和43年(1968年)の出場は、前年の経験を生かし、予選リーグで茨城の水海道高校に快勝、決勝リーグでは宮城の祇園寺高校に惜敗しましたが、当時滋賀県勢としては、久しぶりの好成績でした。

最近では、34年ぶり3回目のインターハイ出場は平成14年(2002年)茨城県開催に水口高校男子バレー部です。監督田中英樹先生、川口・松本両コーチの指導で春高バレーの雪辱を果たし、みごと全国出場を果たしました。

予選で第一試合：佐賀県代表の鳥栖工業高校、第二試合：岩手県代表の不来方(こずかた)高校と対戦・・・全国大会というプレッシャーからか、いつものチームプレーが十分発揮できず、2試合とも勝利を手にとれずとありました。

それでも、もう8年もたったのですか・・・

いずれも、全国大会の初出場で勝利を得るのは大変な事だと思ってきました！

水口東のチームには、これから新たな伝統を作ってもらいたいですネ。

女子で過去の記録は把握しきれませんが、情報があれば教えて下さい(*^_^*)